

## 2021(令和3)年度 城西国際大学 教員免許状更新講習一覧

日程	領域	講習の名称 (取り扱う事項)	担当講師	講習概要	受講対象者	免許職種、教科等	受講人数
8月18日(水)	必修	教育の最新事情	岩田 泉(福祉総合学部 福祉総合学科 教授) 目時 修(経営情報学部 総合経営学科 准教授)	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4事項について、最新の知識・技術の習得と今日的教育課題に関する理解を目的とし、講義を行う。現在、学校が抱えている問題や地域との連携が多様化・複雑化するなか、社会の尊敬と信頼を得る教員・学校作りを考察していく。			70名
8月19日(木)	選択	ICTを活用した授業づくり	目時 修(経営情報学部 総合経営学科 准教授) 亀山 浩文(経営情報学部 総合経営学科 教授) 特別講師	国の政策や教育動向より、教師に求められるICT活用の現況、学校におけるICTを活用した学習について理解する。新学習指導要領における、小学校の外国語教育・プログラミング教育、中学・高校においては、個別学習、協同学習等探究型の教科学習が求められている。教育内容や教育方法の向上を目的とし、講義とワークショップを通して考える。具体的には子どもの認知発達を理解し、高校現場を例に「地理情報システム(GIS)」を用いた授業でのICT活用法やポイントについて考察する。次にICT機器を活用した授業づくりについて、情報教育や教育情報化の現状、学習内容・効果に照らした主要操作についてワークショップを通して学ぶ。	教諭	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭向け	40名
	選択	国際理解及び異文化理解教育	七井 誠一郎(経営情報学部 総合経営学科 教授) 三島 武之介(国際人文学部 国際交流学科 助教)	急激に進むグローバル化の流れの中で、グローバル人材の育成が急務となっている。次世代を担うグローバル人材像とその社会的背景について解説し、グローバル教育の展開について考察していく。また、異文化体験の事例を振り返りながら、異文化理解への方途を探り、教育現場にどのように応用できるかを受講者とともに考察していく。	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭向け	70名
8月20日(金)	選択	観光の学びを通じて、地域や社会を理解する	佐滝 剛弘(観光学部 観光学科 教授) 于 航(観光学部 観光学科 准教授) 山本 剛(観光学部 観光学科 助教)	教育現場において、児童・生徒に既存の観光地を伝えるだけではなく、「観光」というキーワードから観光産業・職業観を身に付けさせ、キャリア教育に繋げていくことが重要である。本講座では地域や企業で実施している施策や戦略が観光振興やまちづくりにどのような効果や影響をもたらしているかを考察する。本講座を受講し、教育現場において実践されることを期待する。	教諭	中学校・高等学校教諭 (社会系科目・商業科)向け	70名
	選択	感染症予防のための基礎知識	額賀 路嘉(薬学部 医療薬学科 教授) 寺島 朝子(薬学部 医療薬学科 准教授)	学校は、抵抗力が未発達な児童生徒等の集団生活の場であり、さまざまな感染症が発生、拡大しやすい状況にある。感染症を予防するためには、平時からの予防対策と感染症発生時における拡大防止対策が基本となる。本講習では、感染症を予防するための基礎的理解として、感染源となる微生物に関する知識に加え、感染のしくみ、感染症予防の基本的対応(標準予防策)、消毒薬や治療薬等について具体的に解説する。感染症への基本的理解が、児童生徒等の健康維持、そして教育の場として望ましい学校環境の維持に役立つことを期待する。	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭向け	70人
8月23日(月)	選択 必修	学校と子ども、教師をめぐる現代的課題 (取り扱う事項:学校を巡る近年の状況の変化)	目時 修(経営情報学部 総合経営学科 准教授) 中川 正臣(国際人文学部 国際文化学科 准教授)	国の政策や世界の教育動向から見た、学校や教師のおかれている現況、その現況から家庭と子どもの貧困や暴力について考える。貧困家庭や外国人児童生徒の増加などの学校がおかれている現代的な課題に関する講義を踏まえて、受講者それぞれの教員としての子ども観及び教育観を省察する。子どもの発達に関しての科学的な講義を踏まえて、教師として子どもに寄り添う専門職のあり方を考察する。これらを踏まえ、教師と児童生徒にとっての居心地のよい「授業づくり」・「学級づくり」・「学校づくり」に向けた教育のユニバーサルデザインのあり方を探る。	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	70名
	選択 必修	学校を巡る近年の状況の変化	倉田 新(福祉総合学部 福祉総合学科 教授) 佐野 智子(福祉総合学部 福祉総合学科 教授) 広瀬 美和(福祉総合学部 福祉総合学科 教授) 大内 善広(福祉総合学部 福祉総合学科 准教授) 川瀬 力也(福祉総合学部 福祉総合学科 助教)	幼児教育現場を巡る様々な状況変化についての適切な理解、子育ての課題。「貧困や多文化など、多様な形の家族の課題」、「心のバリアフリーとは」など、近年求められている最重要課題について講義を行い、議論し考察する。	幼稚園	幼稚園教諭、幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭向け	30名
8月24日(火)	選択	現代的健康課題と児童生徒への支援 -チーム学校として子どもの健康をはぐくむために-	宮澤 純子(看護学部 看護学科 教授) 太田 幸雄(看護学部 看護学科 准教授) 柚山 香世子(看護学部 看護学科 准教授)	今日、幼児・児童・生徒および保護者を取り巻く環境が変化している中で、学校保健に関する教員の力量形成に資することを目的とする。幼児期・学童期・思春期・青年期にわたる心身の発達の特徴と家族の役割について概観する。次に成長発達過程における健康問題の基礎的内容及び最近の話題を含め理解する。後半は健康問題に対して学校保健の観点から教員間の連携について検討する。	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭向け	70名